

危機意識を持って実現に取り組んで

行財政改革推進委員会が市長に大綱の素案を報告

市の行財政改革推進の骨格となる行財政改革大綱の素案がこのほどまとまり、2月13日、行財政改革推進委員会の加藤茂行委員長がその内容を岸部市長に報告しました。

市では、行財政改革に市民の意見を反映させようと市民10人からなる北秋田市行財政改革推進委員会を設置し、協議を進めてきました。

加藤委員長は、「市の存続のためには市民と市職員の意識改革が必要。危機意識を持って大綱の実現に取り組んでほしい」と、市長に素案を手渡しました。素案に目を通した市長は、「細部にわたり市民の目線が入った



岸部市長に行財政改革大綱の素案を報告する推進委員会の加藤委員長

改革への強い意識が感じられる。すぐにもできるものから取り組みたい」と答えました。

大綱の大きな目的は住民のニーズに対応した行政サービスを提供するための財政基盤の確立。目標として行政コストの縮減と収入の確保。職員の行財政改革への意識改革。市民と市の共働によるまちづくり、を3本の柱に掲げ、改革推進に取り組むこととしています。

実施計画では、職員の削減・収納率の向上などの施策に加え、フレックスタイム導入による時間外窓口の延長。市の実情に合った職員給与と手当て等の見直し。議会、行政委員会の定数削減。病院事業の統廃合などが盛り込まれています。

このうち、職員削減及び職員給与等の見直しについては最も財政効果が大きい施策として、21年度から5年間の116人の減員、さらに職員の給与制限により支出抑制に大きく寄与できるとされています。

素案は行財政改革推進実施本部本部長 岸部市長での協議を経て成案を策定、21年度からスタートさせることとしています。

内陸線の積極的な利用を呼びかける

内陸線利用促進説明会

市では、内陸線の利用を促進するため各地区住民を対象に2月17日から説明会を開催し、児童生徒の定期券通学など積極的な利用を要請しています。

このうち18日、森吉コミュニティセンターで行われた森吉地区の説明会には、森吉中学校のPTAを中心に約20人の住民が出席、内陸線の運営状況や存続を維持するための乗車協力に関心を深めました。

はじめに佐藤修助副市長が、「内陸線は仙北市と連携して存続させることになったが運営状況は厳しい。地元の利用がなければ維持は困難。市



森吉地区で開かれた「秋田内陸線利用促進説明会」

職員や県職員も定期利用に協力し、首都圏の文化人も存続のための運動を展開している。赤字を2億円以内を抑えていくためには年間60万人の乗車の確保が課題。児童生徒の7万人の利用を目指したいので中学生の定期利用についてもご協力を」とあいさつ。

出席者からは、運賃の割引などサービスの向上を工夫すべき、「駅周辺の子供が対象という人数も限られており他の地域の友達といっしょにバスで通学したい」「駅周辺の範囲が不明確」「休日や部活後の送迎はどうなるのか」などの意見、要望が出されました。

これに対し、「定期については補助金を交付する」「21年度中に2次アクセスのプランを作成して試行しながら最善の方法を考え、22年度から実施していきたい」「部活後の送迎についてはスクールバスで対応していく」と説明し内陸線利用への協力を訴えました。

説明会は、17日に阿仁地区で、19日大阿仁地区、20日合川地区でそれぞれ開催し、内陸線の積極的な利用を呼びかけました。

市内の工業団地関係者が意見交換

北秋田市工業団地企業懇談会

北秋田市工業団地企業懇談会が2月17日、市中央公民館で開かれ、厳しい経済情勢の中、各企業の現状や取組などについて意見を交換しました。

懇談会には、市内工業団地関係者ら約20人が出席しました。

はじめに岸部市長が、各企業ではこの非常に厳しい経済情勢の中、様々な対策や努力で工場を稼働し、日々の仕事に励まれていることと思う。市では、光ファイバー回線を導入し、市道大野台線の拡幅については、引き続き事業を継続している。また、雇用も厳しい状況と思うが、願わくはもう少し雇用を伸ばしていただき、



各企業の現状や取組などについて意見を交わした、「北秋田市工業団地企業懇談会」

従業員をリストラはしないようにお願いしたい。各企業の支援を検討していきたいので、ご意見、ご提言を賜りたい」とあいさつ。

市の担当者からは、インフラ整備状況や市工業振興条例の改正内容、バイオマスタウン構想、企業に対する市の支援制度、雇用情勢悪化に伴う緊急雇用対策本部の取り組みなどについて説明がありました。

このあと、東北電力の担当者を招いて、電気を有効に効率よくお使いいただくために」と題し、最適エネルギー利用や省エネルギーの提案などについて研修が行われました。

意見交換では、光ファイバーの開通により、文面や図面の送受信がスキャナー機能を活用したEメールでできるようになり、コストダウンを実現した、「厳しい情勢の中、雇用調整をしながら運営しているが、国の雇用調整金にプラスした形で、一日でも早く支援していただきたい」と、大野台工業団地内の年間電気使用料金は約3億円。より安い電気料金を検討していただきたいなどとコスト削減の事例や、要望などが出されました。

市長日誌

2月1日～15日

- 2日(月) 秋田県市議会議長会第2回定期会に出席(ホテル松鶴)
- 3日(火) 北秋田市周辺衛生施設組合正副管理者会議に出席(米代流域衛生センター)
- 4日(水) 2月定例記者会見を実施(市役所) 北秋田市役所職員労働組合の団体交渉に出席(市役所) 北秋田市緊急雇用対策本部第1回会議に出席(中央公民館)
- 5日(木) 北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合正副管理者会議及び協議員全員協議会に出席(森吉支所)
- 6日(金) 元鷹巣町議中嶋喜代さんの叙勲伝達式に出席(市役所) 日本赤十字社秋田県支部より赤十字災害救援車両並びに災害救護装備器材の寄贈を受ける(市役所) 北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合2月議会に出席(森吉支所)
- 8日(日) 森吉山ダム活用シンポジウムに出席(四季美術館)
- 10日(火) 北秋田市周辺衛生施設組合2月議会に出席(米代流域衛生センター)
- 12日(木) 県立北欧の杜公園運営協議会に出席(北欧の杜公園パークセンター) 北秋中央病院運営委員会に出席(ホテル松鶴)
- 13日(金) 北秋田市行政改革推進委員会より行政改革大綱の提示を受ける(市役所) JA鷹巣町青果物生産者大会に出席(北秋田市交流センター)
- 14日(土) 第15回もちっこ市開会セレモニーに出席(大太鼓の館前会場)

大館能代空港 お得な運賃

28日前までの予約でおトクな運賃、旅割！

東京便片道1万3000円、大阪便片道1万2100円、羽田乗継・沖縄便片道2万2000円、沖縄行9時5分出発14時30分到着 / 沖縄発12時25分出発 17時20分到着

大館能代空港3月の時刻表

東京行 9時5分発 10時20分着 / 18時発 19時15分着
 東京発 7時25分発 8時35分着 / 16時10分発 17時25分着
 大阪行 13時発 14時50分着 大阪発 10時50分発 12時25分着
 問合せ先 大館能代空港利用促進協議会 ☎0186437072